

様式第 2 (第12条関係)

加入国際学術団体に関する調査票

1 国際学術団体活動状況 (内規第 11 条 活動報告)

団体名	和	国際理論応用力学連合
	英	International Union of Theoretical and Applied Mechanics (略称 IUTAM)
	団体 HP (URL)	http://www.iutam.net または http://www.iutam.org (日本学術会議が加盟していることの記載 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)
国際学術団体における最近のトピックについて (学術の進歩、当該団体の推進体制の変化、国際機関・政府・社会との関わり方等)		理論応用力学は分野横断の研究領域であり、力学の基本であると同時に第 3 の科学と呼ばれるシミュレーションの学術的基盤でもある。学術分野の研究深化に加えて、社会の要請に合わせ、その対象はより複雑で難しい問題へと変化している。
政策提言や世界の潮流になりそうな研究テーマ・研究方式・研究助成方式等について		研究テーマはボトムアップによる提案が基本となっている。不確実性、マルチスケール、多分野融合など、潮流というより応用力学に今求められている研究領域のシンポジウム提案が生まれている。
日本人役員によるイニシアティブ事項や日本からの参加によって進展や成果があったものについて		乱流研究の発展を期して国際シンポジウムの開催を提案し、2006 年に名古屋にて、IUTAM Symposium on Computational Physics and New Perspectives in Turbulence を主催した。また、カオス発見 50 年を記念した国際シンポジウムの開催を提案し、2011 年に京都にて 50 Years of Chaos: Applied and Theoretical を主催、同様に 2013 年に福岡にて Vortex dynamics: formation, structure and function を主催した。
加入していることによる日本学術会議、学会、日本国民への効果やメリットについて		国際理論応用力学連合 (IUTAM) が主題とする理論応用力学は、国民生活に直結する環境、防災安全、エネルギー分野などにおけるさまざまな現象や課題の解明・解決のための科学技術の中核をなす分野横断の学際的研究分野であり、学術分野において幅広い研究の基盤をなすと同時に、産業界においても開発研究から実際の開発現場までを広く支えている。また理論、実験と並んで第 3 の科学と呼ばれる計算科学の関わる多くの分野で重要な役割を果たしている。 国際理論応用力学連合 (IUTAM= International Union of Theoretical and Applied Mechanics) は、「科学に国境はない」という主旨で 1946 年に設立された歴史ある国際組織である。日本では 1951 年の IUTAM 参加と同時に、IUTAM の国内版とも言うべき第 1 回の理論応用力学講演会が国内において開催された。同講演会は、学術会議の主催で、物理、化学、建築、土木、機械、さらには航空宇宙や原子力、地盤工学や地震工学、自動車技術界といった基礎から応用までの主要学会 20 以上が共催となって開催されている。すでに 60 回を超える開催を積み重ねており、毎回 500 名以上の参加者を集める学際的な講演会として発展してきた。現在、学術会議 IUTAM 分科会がつな

様式第2 (第12条関係)

	<p>ぎ役として IUTAM と国内理論応用力学講演会との連携を図っている。</p> <p>当該分野を世界的に主導する IUTAM に一定数の GA (総会委員) メンバーを送り, 日本が国として主体的にその発展に尽力していくことは, 世界における日本の存在感を示すとともに, IUTAM が主催する各種シンポジウムの日本開催などにもつながっており, 理論応用力学講演会を共催する学協会をはじめ幅広い分野の国内研究者, さらには産業界にとって大きなメリットがある。</p>
その他 (若手研究者・女性研究者育成法、科学者の倫理に関する当該国際学術団体の基本方針や憲章、資金提供ソースの発掘における画期的な方策等の特記事項など)	4年毎に開催される ICTAM 国際会議では若手研究者の発表に対する褒賞や若手参加者に対する財政的支援などを行っている。

2 今後の予定について (内規第 11 条 活動報告)

総会、理事会の日本開催の予定について (招致等の予定も含め)	2016年8月にモンテリオールで開催される ICTAM の場で総会 (GA) および役員会 (CC) が開催予定。 IUTAM シンポジウム日本開催、将来の ICTAM 招致を IUTAM 分科会で議論予定。
日本人の役員立候補等の予定について	IUTAM 理事へ立候補している
現在、検討中の日本からの提言や推進するプロジェクト等の動きについて	2018年～2019年に開催計画の IUTAM のシンポジウム、夏期学校などについて現在募集中であり、IUTAM 分科会で提案の可能性を議論している。

3 国際学術団体会議開催状況 (内規第 11 条 活動報告)

総会・理事会・各種委員会等の状況 (過去5年間及び今後予定されているもの)	総会開催状況	2016年 総会 (開催地: Montreal、Canada) 予定、 2014年 総会 (開催地: Lyngby、Denmark) 、 2012年 総会 (開催地: 北京)
	理事会・役員会等開催状況	2016年 理事会・役員会 (開催地: Montreal、Canada) 予定、 2015年 理事会・役員会 (開催地: Stuttgart、Germany) 2014年 理事会・役員会 (開催地: Lyngby、Denmark) 2013年 理事会・役員会 (開催地: Montreal、Canada) 2012年 理事会・役員会 (開催地: 北京)
	各種委員会開催状況	年 (開催地:)、 年 (開催地:)、 年 (開催地:)、 年 (開催地:)

様式第2 (第12条関係)

	研究集会・会議等開催状況	2016年 ICTAM (開催地: Montreal) 予定、 2013年 IUTAM シンポジウム (開催地: 福岡) 、 2012年 ICTAM (開催地: 北京) 、 2011年 IUTAM シンポジウム (開催地: 京都) 、 (シンポジウムは国内開催分のみを記載。毎年、各国で10件前後のシンポジウムを開催。詳細は REPORT2014 (添付資料を参照)			
	上記会議等への日本人の参加・出席状況及び予定	2016年 ICTAM 国際会議 (Montreal) 日本人約100人参加予定 2016年 IUTAM 総会 (Montreal) 、若干名 (うち代表派遣: 1名を予定) 2014年 IUTAM 総会 (Lyngby) 、3人 (うち代表派遣: 佐野理) 2012年 ICTAM 国際会議 (北京) 約1,560人 (うち日本人約100人) 2012年 IUTAM 総会 (北京) 5人 (うち代表派遣: 神部勉)			
	国際学術団体における日本人の役員等への就任状況 (過去5年)	役職名	役職就任期間	氏名	会員、連携会員の別
総会委員		2011～	松本洋一郎	(23期) 会員・連携	
総会委員		2011～	岸本喜久雄	(23期) 会員・連携	
総会委員		2011～	西村直志	(23期) 会員・連携	
総会委員		2013～	佐野理	() 会員・連携	
総会委員		(終身)	巽友正	() 会員・連携	
		～		() 会員・連携	
	～		() 会員・連携		
出版物	1 定期的 (年 1 回) 主な出版物名	Annual Reports			
	2 不定期 () 主な出版物名	年10件ほどのシンポジウムプロシーディングが書籍として出版			
活動状況が分かる年次報告等があれば添付又は URL を記載					
1 国際学術団体の定款 (英文、あれば和文も) (http://iutam.org/?page_id=447)					
2 国際学術団体の概要説明書 (歴史、現況等) (http://iutam.org/history/photos-of-congresses/)					
3 国際学術団体加入ナショナルメンバー一覧 (http://iutam.org/a-propos/iutam-general-assembly/)					
4 国際学術団体の分担金一覧 (各国別カテゴリー、金額一覧) REPORT2014 P102 (添付資料)					
5 国際学術団体の財務報告書 (最近のもの) REPORT2014 P100 (添付資料)					
6 国際学術団体の機関誌、総会記録 (最近のもの) Annual Report2014 (添付資料)					
7 その他加入による実績がわかる資料					

様式第2 (第12条関係)

		(カナダ) The National Research Council of Canada (ロシア) Russian National Committee on Theoretical and Applied Mechanics (スウェーデン) Swedish National Committee for Mechanics (中国) The Chinese Society of Theoretical and Applied Mechanics (インド) National Committee for Theoretical and Applied Mechanics of the Indian National Science Academy
--	--	--